

# みこころ



カトリック松山教会  
〒790-0003 松山市三番町四丁目5-5  
TEL 089-921-1849 FAX 089-921-2109  
ピーター・ジャ・レ神父 O.P.  
発行 広報活動委員会

2025年を「希望の巡礼者」に捧げられた聖年を祝うすべての月の中で、私たちは、今月、10月、ロザリオの聖母の月を与えられています。

「希望の巡礼者」というテーマは、私たちを放浪者としてではなく、神の約束に対する喜びと確固たる信頼によって示された目的を持つ人々として、私たちの人生を旅するよう呼びかけます。これは純真な楽観主義ではなく、私たちの闘争の現実に形成された希望であり、十字架を見て終わりではなく、輝かしい新しい始まりを見る希望です。

この旅の中で、聖母は聖ロザリオを広げます。ロザリオはこの聖年の巡礼者のスタッフです。



カトリック松山教会  
担当司祭  
ピーター・  
ジャ・レ神父 O.P.

2025年を「希望の巡礼者」に捧げられた聖年を祝うすべての月の中で、私たちは、今月、10月、ロザリオの聖母の月を与えられています。

## 新しい希望の始まり

それは魔法の呪文ではなく、魂の杖です。私たちの手の中では、ロザリオは平和への道となり、混沌とした世界での私たちの歩みのリズムとなります。

私たちは、それぞれの聖母マリアとともに、ただ言葉を繰り返しているのではなく、救いの大きいなる神秘、すなわち御子の人生の喜び、光、悲しみ、栄光をマリアと共に歩んでいます。

「希望の巡礼者」として、マリアは私たちの希望への完璧なガイドです。すべてのことを心の中で考えているマリアは、神の計画を信じ、喜びと悲しみを共に保つ方法を私たちに示しています。

発表の時点では、彼女の「イエス」は、彼女が見ることのできない未来における最高の希望の行為でした。

十字架の下で、彼女の希望は息子と共に死ぬのではなく、静かで忠実な闇の中で復活を待ちました。



2025年、私たちは「希望の巡礼者」になることを求められます。

そしてこのロザリオの聖母マリア月こそ、その歩みを始める完璧な方法を見出せる時です。

聖母の御手に私たちの手を委ね、すべての希望の源である御子へと、彼女に導かれるままに近づいていくのです。



今年の10月、ロザリオが私たちの聖年の羅針盤になりますように。あなたの指がロザリオの珠から珠へと動くとき、あなたはその場に止まっています。

あなたは移動中の巡礼者であり、マリアと共に歩き、私たちの希望を力づける物語をリハーサルしています。

あなた方はキリストの顔を彼女の目で見つめ、あなた方自身の喜びと、悲しみの中にキリストの存在を見る」とを学んでいます。

# 松山教会で

## 兵頭司祭・叙階式

6月28日



6月28日（土曜日）午前10時から、カトリック松山教会で、聖ドミニコ修道会ロザリオ管区の司祭叙階式が、執り行われました。主司式は、ヨゼフ・マリア・アベイア福岡教区司教様です。26人の司祭団、修道者、多くの信徒、関係者など100人以上が参列しました。

司祭に叙階された、ヨゼフ・

ガブリエル兵頭俊介O.P.

愛媛県松山市出身45歳。

2005年に徳島文理

大学院文学研究科地域文化

専攻修了。

2011年に松山教会で洗礼・堅信・初聖体。

2018から6年間、マカオの聖セントジョセフ

大学で学士号取得（キリスト教学）

2024年6月に松山教会で助祭に叙階。

ヨゼフ・マリア・アベイア司教様のみことば

今日の司祭叙階式に至つた道のりは、長かったと思います。振り返ってみれば、心のうちに様々な場面、多くの人々との出会い、乗り越えてきた難しい時などが

浮かんでくるでしょう。ただ、その道の出発点は言うまでもなく、イエス様との出会いです。すべてはそこから始まります。誰にとってもイエス様との出会いは決定的な出来事です。小さい時に、優しい友として感じられるイエス様。成長をして行く中で、歩む道を示してくださるイエス様。いろいろな形で自分の生き方を問いかけてくださるイエス様。苦しんでいる人々に目を向けさせてくださるイエス様。いつも共にいてくださるイエス様。本当に様々です。

神の助けと共に歩んでくださる兄弟たちの愛情はあなたの歩みを支えます。あなたを呼んでくださった神よ、共に歩む兄弟たちを信じてください。召し出しの道は、こうゆう信頼に支えられている道です。イエス様のなさり方に三つのステップがあります。まず人々のうちに入っていく、あるいは見ること。人びとの現実を見ることです。次は、哀れむ、あるいは共感することです。一人ひとりの現実を心に受けとめることです。そして、三番目には行動すること。あるいは関わることです。司祭は上に立つ人ではありません。司祭は下から人々の歩みを支える者です。人々と共にいて、人々と共に歩みます。みことばは絶えず心に留め、思いめぐらし、祈りのみことばと、愛を伝えるための使命を持つて生き



兄弟を代表して、福岡箱崎教会協力司祭  
ルカ神父様より。



担当の神父様が言つてくださった、言葉を分かち合いたいと思います。それは司祭になつてから「1日の日課を終えて眠る前、その1日を振り返る時に、どれだけの時間を信者の方々のために使つたか考えてみなさい」と言うお話でした。これは多くのことを考えさせられる言葉でした。この言葉がどういう意味か分かること思います。

兵頭神父様も、今夜、眠る前になぜ修道者になろうとしたのか、なぜドミニコ会に入ろうと思ったのか、なぜ司祭になろうとしたのかを、振り返る時間をお持ちいただければと思います。私たちは、より多くの人々に、神様のみことばと、愛を伝えるための使命を持つて生き

聖ドミニコ修道会ロザリオ管区日本地区長  
マリアーノの神父様より。

本当におめでとうございます。

ヨゼフ・ガブリエル兵頭俊介という  
賜物を与えてくださった、神に感謝  
申し上げます。ドミニコ会、聖なる  
宣教司祭、生けるキリストとなられ、  
神が彼に力と知恵、そして勇気を与  
え、恵みといつくしみを持つて司祭  
職をまつとうしてください。

ていかなければならぬ宣教師です。時には試練と苦痛に、辛い気持ちになる時もあるでしょうが、一緒にこの道を歩んでおられるブラザー達がいるので心配しなくてもいいと思います。そして、いつも神様が神父様と一緒にいらっしゃるので、たとえその道が、険しくて倒れても、立たせてくださるでしょう。共にその道を、幸せに歩いていきましょう。

信者を代表して、松山教会評議会議長  
田窪 由紀子議長より。

去年の助祭叙階式の後、兵頭神父様とこんな会話をしたのを思い出しました。「お腹ちょっとと成長しましたね。何が入ってますか」とお伺いしましたら、この中には、「夢と希望と愛が詰まっています」とまあ素敵なご返答でした。でもそれ以上は増やさないでくださいね!と申し上げましたら、増えるとしたら、

「勇気・努力・根性・友情」です。なんて素敵なご返答でしょう。感動したのを思い出します。

このカトリック松山教会から、松山出身の司祭が誕生することは、大きな希望であり、大きな誇りであり、大きな喜びです。神様からのこの大きな、大きなお恵みを感謝したいと思います。

福岡箱崎教会の信徒会長 雨水 清人会長より。

昨年は、ルカ神父様が司祭叙階式で、兵頭神父様が助祭叙階式で、皆様がお越しいただきました。それ以降、神父様は、平日及び主日のミサで、説教をなさいました。ドミニコ会は、説教者兄弟会と言われておりまして、説教には提唱があります。

なかなかわかりやすい説教で、私共の心を非常に引き付けていた

だいて、ありがとうございました。これから、ますます説教に磨きをかけて、今まで以上の説教をよろしくお願ひしたいと思います。

日本のカトリック信者は、0・34%位しかおりません。その中で、こうやって日本人の神父様が育つていくと言ふことは、とても素晴らしいことだと思つております。



ヨゼフ・ガブリエル兵頭俊介司祭・感謝の言葉

今日は、皆さん本当に越しいただきました有難うございます。

「名は体を表す」と言いますが、

俊介という名前は、(俊)すぐれ

た、と言う字と(介)たすけると

いう字になります。人々に素晴らしい介(たすけ)となる人になつてほしい、そういう願いが込められていると思つています。

私が選んだ言葉「恐れるな、わたしはあなたとおもにいる」その言葉の通りに、私も皆さんと一緒に歩いて苦しい時も、いつも一緒にいてくださいました。イエス・キリスト、三位一体の神様に、常に感謝して、共に一緒に、これからも歩んでいきたいと思います。

それと同時に、介(すけ)という字は、仲介するという意味もあります。司祭となつて、ドミニコ会の説教者兄弟会の一人として、仲介する、神の言葉を皆さんに仲介する人となる。本当に名前の通りに成長ができているのであれば、これがひとつ親孝行かなと思います。



## 兵頭司祭の初ミサ

### 「信仰・集まり」



ヨゼフ・ガブリエル  
兵頭俊介司祭

私たち一人ひとりも教会です。私たちの胸の中にある大きな、大切な綺麗な教会があります。この教会も、私たちの信仰の上に立っているのです。私たちは、このイエス・キリストという人を信じる。彼こそ救い主である、そして神の子であ

兵頭司祭の初ミサには、130人以上の信者さんが集まりました。この日の典礼は、聖ペトロ・聖パウロ使徒です。

ペトロの殉教した場所、逆さはり付けにされた場所の上に、サン・ピエトロ大聖堂が建てられています。まさに今日、イエス様が福音の中で示した、「あなたの上に教会を建てる」ということが、このあなたの上に大きな岩の上に立てるということではありません。ペトロの持つイエス・キリストに対する、神に対する信仰の上に教会が立っています。

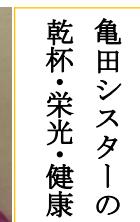
ると言ふことを信じて集まっている。私たち一人ひとりが教会です。この松山教会という建物であつたり、サン・ピエトロ大聖堂であつたり、建物が教会と言われますが、それだけの教会ではありません。私たち一人ひとりの集まり「エクレシア」といわれる集まりです。それが本当に良い教会です。私たちが集まつて祈るところにイエス様は常におられます。

そしてペトロとパウロこの二人は、殉教をすることになります。殉教というものは証「あかし」をするということになります。だからこそ、殉教者は、信仰の証人（あかしひと）と呼ばれます。



私は、これからこの説教の後に、信仰宣言をしますけど、それだけではなくて、私たちも普段の生活の中で、恐れたり、恥ずかしがつたりせずに、力強く、私は「キリスト教の信者です」と、宣言して、それを表していくような、自分の信仰を表していくような信仰生活をしていくよう日々、神様に力を与えてくださるように祈つていきましょう。力強く、私たちも信仰をいつまでも守り、そして信仰の証人「あかしひと」として、この新しい時代の信仰の証人「あかしひと」として、大切な信仰生活を送つていきましょう。

6月29日



祝賀パーティー

6月29日



ベトナムの若者たちの合唱・喜びの歌で盛り上がる。

ジャ・レ神父様より  
兵頭神父様、新司祭・初ミサ  
おめでとうございます。  
これから、毎日のミサを立て  
て、聖体を授け、神様の愛を与  
える。神様のことばを伝える。  
神父様には、その重責を担つ  
ています。教会の為、他の  
人々、信者の人々の為に、神様  
の恵みと愛を分かち与えてく  
ださい。



笑顔がふくらむ・阿波踊り披露



祝賀会には、80人以上の信徒が集まり、ヨゼフ・ガブリエル兵頭俊介、新司祭誕生を喜び合いました。



「恐れるな、わたしはあなたとともにいる」 イザヤ 41:10

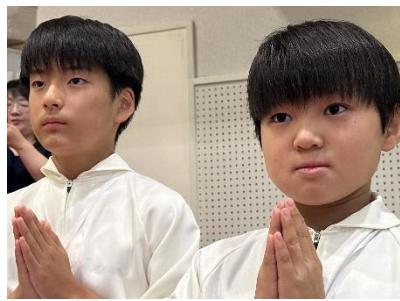
# 初聖体・おめでとう

6月22日、カトリック松山教会で、初聖体が行われました。子供たちは、この半年、杉浦駒子先生、竹田美保先生、シスター・リタを中心に、初聖体の勉強を熱心にしてきました。

6月22日



ご聖体を授ける  
ジャ・レ神父様



和田 悠真（小6）  
松岡 幸徒（小4）  
ベネディクト  
ミカエル

イエス様のご聖体をいただくときには、ドキドキする心があります。でも、聖体をいただくと安心します。信仰によつて、一人ひとりこのように信じて、その心をもつて聖体を受けます。

このパン、実はなにも味も無い、塩も砂糖も入れてない。けれども、私たち信者は、信



杉浦 駒子先生

松岡幸徒君は、ゆるしの秘跡の時に「心が強くなつて、綺麗になつたことをとても嬉しい」と言つていました。

3歳の七五三の時に、前に出られないくらい緊張して、泣いていたことを覚えていています。

けれども、もう今は、見違えるようなお兄さんになつて、とてもまじめに勉強をしてくださいました。

初聖体をおえて  
松岡 幸徒（小4）



仰として不思議なことに、この聖体をいただくと、口の中が凄く甘い感じがする。そしてこの聖体をいただいて、席に戻つてくると、イエス様自身が、自分の心にいることを感じる。默想のうちに感じる。そして、自分の心が温かくなる感じがします。



初聖体をおえて



和田 悠真（小6）

僕は、聖母幼稚園に通つていたとき、神様は優しい方なんだなぐらいしか思つていなかつたけど、この約6ヶ月間の勉強を通して、神様のことについて詳しく知ることができました。特に心に残つたお話を「ほうとう息子」です。どんなに悪いことをしても、本当に心の底から謝れば許してください神様はすごく優しくて、僕達のことを本当に、愛してください



感謝の言葉・松岡 幸子（母）

兄姉の姿を見ていたからか、

二年生になると、「ご聖体の勉強をする」と、嬉しそうに話していたのを思い出します。色々なことが重なつて、延期になつて、いたご聖体の勉強、聖体式を迎えた喜びと感謝は、言葉に尽くしがたいものでした。

杉浦先生、竹田先生、シスター・リタ、ジャ・レ神父様、お忙しい中、時間を割いて下さりありがとうございました。また、温かい目で見守り、共に喜んで下さつた信徒の皆様ありがとうございました。

告解のときは、すこし緊張しました。今までに犯した罪をすべて告白しました。告解が終わつたあとは、すつきりした気持ちでした。

初聖体の日、ご聖体をいただいたいあとは、神様とお話しをして心が暖かく、ホッとした気持ちになりました。

神様が、僕の体に入つてきてくれたので嬉しかったです。

神父様や先生、教会の方からプレゼントをもらつて、みんなから、お祝いしてもらつて嬉しかつたです。これからも、神様とお話しをしながら神様が喜ぶ行いをしていきます。



杉浦 駒子先生

和田悠真君、「少し緊張したけど、初めてご聖体をいただけて、神様が僕の中に入つてくれたので嬉しかつたです。」和田悠真君は、いつも歌の時にピュアな声で歌つてくれました。

そして、勉強では「ほうとう息子」の話に痛く感動したそうです。神様が心から反省したら無条件で許して下さることにとても感動したそうです。



## 感謝の言葉・和田 恵美(母)

初聖体の勉強の中で、侍者をさせていただいたり、奉納金の手伝いをしたり、子どもが成長した姿を見て、微笑ましく、嬉しい気持ちになりました。

ジャ・レ神父様、シスター・リタ、駒子先生に美保先生、ご聖体をいただく準備と意味を丁寧に教えてください、ありがとうございました。

パンと葡萄酒は、イエス様のお体と御血に変えられます。イエス様が、与えてくださる食べ物によつて、私達は、イエス様と一つになり、愛と命をいただきます。

今日、初めていただくご聖体のお恵みを神様に感謝しながら、心を込めてお捧げいたします。



初聖体を祝って、ささやかな歓迎会も



## 兵頭助祭より・初聖体おめでとうございます。

イエス様は、どのような時でも、大変な時でも、人々を迎えてくれます。若い人々を、いろいろな人々を迎えて、一緒に歩んでいけるような教会になつて行つて欲しいと思います。



# スカウトバザー

ボーカルスカウト・ガールスカウトを代表して  
ボーカルスカウト松山第10団

團委員長 濱田俊三

スカウトバザーや協力ありがとうございました。

教会に若者が来なくなつて久しくなり、ひそかに教会の

は、子供の頃から青年時代に至つても、ずっと信者では、ありませんでした。

信者さんに触れ合つたことが、運命的ともいいう教會との出会いを作つてくれたのでした。

子供達に教会に来させ、信者さんや、神父様に触れ合わせること、この大きさを私は身をもつて知つたのでした。

50年も前に、教会の先輩たちもこの事に気付いたのでしょうか。

この教会にボーアイスカウト松山第10団、ガールスカウト愛媛県1団を発団させました。

これら諸先輩の期待に沿うように、次々とスカラウトたちが成長し、教会の主な戦力になつてゐるのは周知の事実です。

『人はどの様に生きるべきか?』と、尋ねられるとスカウト達はすぐに答えます。

A group of scouts in a kitchen, with one scout in the foreground wearing a mask and holding a clipboard.

『幸福を得る本当の道は、他の人に幸福を分け与える事です。』

理念は神々しく立派なのですが、よわい82歳にもなつて情けないことに、胸を張つて「はい、その通りに生きています。」なんて言えません。せつかくの忠告をばかにされたと勘違いしたり、自分とは違う感覚の人を侮つたりします。

そんな、罪深い自分に気がつくようになつたのは、極、最近なのです。

りがとうございました。  
これからもずっと、教会のスカウト達の応援よろしくお願いします。

しかし、彼らは教会の宝なのです。  
彼らを見捨てず、温かい目で成長を見守つて頂き  
て下さい。

私たちには良かったのですが、祈りの場と考え  
る人達のひんしゆくをかつたりもします。  
足腰が弱つて歩くにも苦労する年寄りに対し、  
寄り添つてあげたり、優しく声をかけてあげたり  
する事のできなかつたこともあります。



この日は、パウロ会阿部ブラザーの訪問販売も開かれ、カトリック用品などが販売されました。



毎年このように、集まって、何をするのでもなく、一緒にこうやって、共に食事をするという事はとても大切なことだと思います。父と子と聖靈にみなによつて、アーメン。



## 夏・夕涼み会

8月23日、カトリック松山教会で夕涼み会



阿波踊り



踊らな  
そんそん



## 平和月間

### 2025に向けて



8月3日、ミサ後、ジャ・レ神父様は、大阪高松教区報4月号、前田万葉大司教様のメッセージを読み、希望を持って共に歩むことを願いました。

世界に目を向けると、国と国との戦争、他民族との争いの中で、圧迫を受けて、人間らしく生きるありかたを奪われ、尊厳を脅かされる人々がっふれています。戦後80年を迎える日本では、戦火こそありませんが、いのちが軽んじられ、将来への不安を抱えた人が、世代を超えて多数となりつつあります。わたしたちはこれからの人々・悲しむ兄弟姉妹の声に無感心であつてはなりません。このような現代の情勢に鑑み、聖年でもある今年の平和月間のテーマを「希望と平和の巡礼者となるう・苦しむ人、悲しむ人とともに歩む道」といたしました。誰が私たちの隣人か。私は、どこで誰と正義と平和に根差した希望を分かち合うべきか。特に若い世代の人たち、外国から移住の人たちとも協働して、この平和月間を有意義に過ごすように願います。戦争が人間の「仕業」であるならば平和を打ち立てることも人間にはできるはずです。

## 平和を紡ぐ旅 戦後80年

### ～希望を携えて～

2024年10月に日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）が、ノーベル平和賞を受賞しました。「核兵器は極めて非人道的な殺りく兵器であり人類とは共存させてはならない、すみやかに廃絶しなければならない。」受賞に際し行つた演説で

代表委員の田中熙巳（てるみ）氏が語つたことばは、世界の人々の心に届き核廃絶について考えるきっかけとなつたことでしょう。

その言葉には80年にわたつて語り続けてこられた重みがありました。80年が経過した今、実際に戦争を経験した人は、非常に少なくなつてきています。だからこそ、私たちは歴史的事実に誠実に向き合い、学び、記憶にとどめ、次世代に伝え、平和のために生かしていかなければなりません。

#### 「希望をともにして歩む」

聖書が語る「平和（シャローム）」は、もともと

「欠けたところのない状態」という意味を持つ言葉です。今年、カトリック教会は聖年を祝っています。25年に一度、聖年を実施し、神の前にすべての人が尊い存在であることを再確認し、権利を侵害されているのであればその状態を解消し、搾取されているならばそれを返済し、負債から解放されるよう働きかけています。



まさに、「欠けてしまった状態」から、本来の状態に戻す、平和を実現するための年と言えるでしょう。

前教皇フランシスコは、今年の聖年のテーマを「希望の巡礼者」とし、

「聖年が、すべての人にとって、希望を取り戻す機会となりますように」と招いています。



また、新教皇レオ14世は最初の祝福の際、「あなたがたに平和があるように。この平和のあいさつが皆さん的心に入れますように。」

皆さんのお家庭に、どこにいた

としてもすべての人に、

すべての民族に、すべての地

に届きますように。

あなたがたに平和があるよう

に」と呼びかけられました。

平和を望むすべての皆様、若

者の皆様、この80年の間、

幾世代にわたつて受け継がれてきた平和への歩み

を自らのものとし、「希望を携え、平和を紡ぐ旅」

をともに歩み続けてまいりましょう。

2025年6月17日 日本カトリック司教団

## ミャンマー大地震

### 現地支援活動

平和を実現する使命に向けて生きる人々を応援している、社会活動センター「シナピス」の6月号にカトリック松山教会ピーター・ジャ・レ神父様が書いた「ミャンマー大地震における現地支援」が掲載されました。



大阪高松大司教区カトリック松山教会では、2022年のミャンマーにおける軍事クーデター以来、ミャンマーの人々と帶し、ミャンマーの平和と世界の平和のために、聖体礼拝などの祈りの集いを行つてきました。

同時にミャンマーの人々、特に松山教会担当司祭ピーター・ジャ・レ神父の故郷であるカヤー州を中心には、長引く内戦の影響を受けている人々のために献金を集め始めました。これらの義援金は、この地域で宣教活動をしているドミニコ会司祭たちに送られ、青少年の教育（学校建設・運営）や、高齢者や子どもたちのための食糧や薬品のために使われました。

(F. A. M) は、ミャンマーの聖ドミニコ修道会・ロザリオ聖母管区ミッションの指導の下、

貧しい人々や恵まれない人々に奉仕するカトリックの非営利・非政府組織です。

私たちはミャンマーにおいて、宗教、人種、民族、性別に関係なく、人権、教育、保健医療、生活、人道支援、緊急救援サービスの促進を通して、最も弱い立場にある人々と共に働くことに献身しています。例えば、お年寄りや病人、小さな子供たちに食べ物や薬を提供することです。また、ジャングルには教育施設がないため、この救済活動を行うために多くの資材を必要としています。



ミャンマー大地震、2025年3月28日、ミャンマーで観測史上最大規模の地震が発生しました。マグニチュード7・7のこの地震はサガイン地方を襲い、震源地は同国第2の都市マンダレー近郊でした。この地震は壊滅的な結果をもたらし、広範な被害、数千人の死傷者、人道的危機をもたらしました。マンダレーとその周辺地域は災害の矢面に立たされ、病院は倒壊し、電気や水道といった必要不可欠なサービスが中断しました。

マンダレー市内の影響は深刻で、多数の高層ビル、パゴダ、モスク、教会が倒壊しました。複雑で困難な復興作業が地震の余波を実感させました。

当面の優先課題は、捜索・救助活動、負傷者への

医療ケア、生存者の食料・水・避難所の確保でした。国際的な援助が殺到しましたが、壊滅的な規模との地域の継続的な課題が救援活動を複雑にしています。マンダレーにあるドミニコ修道会の聖マルティン・デ・ボレス学校のコミュニティも被災しました。すべての建物に大きなひび割れや小さな亀裂が入っています。

しかし、他の場所に比べれば、はるかに恵まれていて、海外からの援助や寄付、州内のいくつかのコミュニティや個人の寄付を受けた後、F. A. Mは特に被害の大きかった地域の地震被害者を訪問し、寄付をするために行動しています。

松山教会に集まった献金は専用の銀行口座に入金しています。現地で支援活動をしている神父様とジャ・レ神父が連絡を取り合い、現地の神父様が ATMのある場所まで行けるタイミングに松山からその都度、15万円から20万円くらいを送金します。(ミャンマー通貨で5百万チャット分)





この絵ハガキの宝塚教会は、  
村野藤吾設計でくじらの形を  
したユニークな姿です。  
私は近所ですので、夜のミサ  
の時に行つたりします。

神戸中央教会では、ミサ後、セルフでコーヒーなどを飲んでいますが、やはり本物のカフェにはとうてい及びません。ミサの緊張をやさしくほぐしてくれる雰囲気は、お手伝い下さる方が自然に作り出される、ものかと存じます。

本当にすつきりとした美味しいコーヒーを駆走になりました。私にとって松山教会で特筆すべきは、カフェが併設されていることです。

松山は初めてでしたが、「みきやん」が大好きなので、きっと良い所との確信がありました。

教会で接した皆様には温かくて親切で感激しました。私にとって松山教会で特筆すべきは、カフェが併設されていることです。

松山は初めてでしたが、「みきやん」が大好きなので、きっと良い所との確信がありました。

教会で接した皆様には温かくて親切で感激しました。私にとって松山教会で特筆すべきは、カフェが併設されていることです。

戸中央教会の松尾 有美子です。

竹内節子さんの友人より  
2025年聖年・希望の巡礼者

## オアシス便り



それではいつかまたお会いできるといいですね。  
どうかお元気でご活躍下さいますことをお祈りいたします。

おやさしく接して下さった南方様にもよろしくお伝え下さいませ。

松尾 有美子さんのお便り



希望の巡礼者の旅は続きます。  
聖年が、すべての人にとって、  
希望を取り戻す機会となりますように  
お待ちしています。



### ●帰天者（8月現在）

7/3 サムエル 中峰 孝志さん (76)  
7/30 マリア・カルメン 吉金 寿美子さん (97)  
8/7 モニカ・ベルナデッタ 武智 昭穂さん (84)

●転出者 なし ●転入者 なし

### 教会維持費の振込先

ゆうちょ銀行 口座名：カトリック聖ドミニコ修道会  
イエズスの聖心教会  
記号：16160  
番号：26197851



ありがとうございます。  
 布ポストを同意して下さった神父様  
 布ポストを御聖堂前に出して下さる方  
 布を持って来て下さる方  
 布を切つて下さる方  
 布を北条のマルチンへ届けて下さる方  
 布を受け取つて下さる方  
 布を使用して下さる方  
 難しい言葉はできませんが、「ありがとうございます」の言葉  
 は山ほど一人ひとりの優しさがあつて続いております。  
 感謝のうちに おてふきの会一同より



## みなさまに感謝